

# アマダイ通信NO. 85b

(Tile fish network letter)

2011年 節電の盛夏に

## 知人・友人各位

民主主義は手続きの問題だが、その手続きを無視、目的は手段を正当化するかのように暴走する総理大臣を阻止出来ない民主党。半世紀に亘る政・官・業癒着の自民党政治のツケとしての経済停滞と原発事故の責任は棚に上げ、その処理の仕方、尻拭いの仕方が悪いと足を引っ張るだけの野党。自民党に引導を渡す役割以上のことは出来そうにない民主党にも国民は引導を渡し、次の国政選挙では国民によるクーデター、第三の選択が行われるのではないだろうか？その受皿創りは水面下でもう進んでいるのかも知れない。

## ◎水・電併給で震災と放射能に備える

●が営業、顧問先の高橋カーテンウオールが石やタイル打ち込みのプレキャストコンクリート製外壁パネルを全量製造・施工した大阪新駅ビルが5月の連休にオープン。吹き抜けの多い駅ビルには三越伊勢丹が核テナントとして入り、電車の出入りが一望出来る斬新な大屋根の下の解放空間で、難波のオバちゃん達がカシャカシャ携帯で写真を撮る。鉄ちゃんには堪らないだろう。京都駅ビルといい、遊び心を感じる。一見の価値がある。

その京都駅ビルでは●が水先案内人をする電源開発の費用で深井戸を掘り、膜濾過措置等を付けて水を浄化、飲用水とトイレ等に使う中水を安く供給、市水と併せ水道のインフラを二重化、セキュリティを高めた上で、年間7千万円ほど水道代を節約する経済効果もあげている。3月11日、震源から遠く離れた筑波市でも水道が断水したが、当日午前、筑波大付属病院では電源開発の専用水道システムが初稼働、市水が通じるまでの一週間ほどフル稼働で水を一手に供給、病院機能を維持した。

今回、岩手医大の1100床の新病院に千kwの自家発電機を設置、5日分の重油も備蓄するという。災害時に水道の復旧は遅れる。電気だけあっても水がないと病院機能は維持出来ない、水・電併給が必要だ。経営の厳しい病院でも、電源開発の費用で作った自家水道で水道料金を節減、浮いた経費で自家発電システムも設置し、自己資金なしで震災に強い病院にできる。東大病院と付属の医科学研究所でも電源開発が古井戸を改修し浄化設備を新設、●が母校に毎年4千万円「寄付する」が、都の水道の放射能汚染でパニックになった時も、東大の井戸水は大丈夫で産科や小児科に優先供給された。東大病院はこの専用水道専用大型自家発電機を増設した。井戸があっても、地震で電源が切れればポンプが動かず、水がなければ食事もトイレや入浴も、手術や人工透析も出来ない。

## ◎20年振りのぎっくり腰・・・直立歩行出来る幸せ

東京都教職員共済三楽病院でステージⅢb(ほとんど治癒する見込みなし)の大腸癌を手術して8年目、四半期に一回の血液検査と主治医との面談、年に一回の胸部と腹部のCT撮影が未だに続く。先日も血液検査の結果をみながら、大学の後輩でもある主治医の阿川先生と雑談。γ-GTPが74と前2回の57、41より少し悪化、60以下の正常域を唯一オーバーするが、他は総コレステロール、中性脂肪、血糖、尿酸値も含め全て正常、勿論が

んの腫瘍マーカーも異常なし。暴飲暴食の割に不思議だ！という、子供の頃の元気な生活のお陰です。大腸癌だけ誤算ですねと先生。就学前の小児結核の自然治癒に続き、取ったリンパ節9か所中3か所に癌が転移、データの的には殆ど治癒する見込みなしの大腸癌もほぼ完治。阿川先生のゴッドハンドと勉強しなさいなどと言わず、日本海と白神山地を我が庭として存分に遊ばせ、タフな肉体と精神をくれた両親に大いに感謝する。

その元野生児に久し振り異変。前から腰に違和感があったが、5月末の火曜日、新幹線の中で20年振りのぎっくり腰に。長時間同じ姿勢だったからか、新大阪のホームでへたり込む。体を伸ばし伸ばしし、どうにかタクシーで顧問先の淀屋橋の阪和興業へ。打合わせも早々に、コルセットを買って貰い腰に巻きつけ、タクシーで梅田のパレットプールへ。JRの弥生会館で軽い昼食後、原島ウッドプラスチック社長と合流、社長にカバンを持って貰い、パレットプールへすり足。ぎっくり腰でと同情を誘いながら営業。新大阪までタクシーを走らせ新幹線で直帰、アシスタントにネットで勝どきの整形外科を探して貰い、東京駅からタクシーで直行。レントゲンを見ながら、腰椎間でクッションの役割をする椎間板が老化で擦り減り、第四腰椎に押されて飛び出し、神経に当たって痛むのだとお医者さん。メスを入れるほどではなく、安静にする以外ないとのことで、消炎鎮痛剤を貰い、原島社長にタクシーで近くの自宅マンションまで送って貰う。

20年ほど前、ぎっくり腰で全く動けなくなり、奥只見丸山山頂でスキーとバーベキューを予定していた5月の連休を寝たきりで、棒に振ったことがあった。今回は二日目の朝からソファに仰向けで新書を読み、床にうつ伏せで新聞を読む。朝、昼、夕方、夜と入っていたアポはキャンセルするが、パソコンと携帯で多少は仕事が出来、最初の時より楽だ。三日目の木曜日不起居する度に海老の様に背中を丸めるが、午前中に思い切って背筋を伸ばし、駅前の整形外科まで歩き、直立歩行出来る幸せを味わう。5万年前？初めて直立歩行した人類の祖先も同じ喜びを感じただろうか？嬉しさの余り事務所へ行って三鷹クラブの世話人会に参加しようかとも思うが、動き過ぎると長引きますよと医師。

### ◎「在宅勤務」…ぎっくり腰でも仕事

ぎっくり腰三日目の木曜昼、北京から一時帰国の寮の後輩で99年入寮の津田量君と連絡が取れる。寮の後輩の永瀬兄弟が経営する東進ハイスクールのナガセから2冊目の中国語教本を出し、その二冊を教材にナガセが中国語教室を開講するという。津田君に銀座の木曾路でランチをご馳走、報告を受ける。兄の永瀬社長とS43年入寮同期、ベンチャーファンドのナレッジカンパニー勝部社長に津田君を紹介、三者で会食したのが功を奏した。

北京の人民大学大学院に在籍する津田君の中国語の先生で、中国社会科学院の呉さんもランチに同席。出張で来日、帝国ホテルに泊まる彼女を、まだ学生で手元不如意の津田君が、牛丼屋や立食うどん屋などにしか連れて行かず、日本食って不味いと思っていたと、呉さん。木曾路のランチで感激されて☹は恐縮。帝国ホテルではもっと美味しい和食を楽しめる筈だが、ホテルは高くコストパフォーマンスが悪いと思うのはよくわかる。ついでに日本の中流！？のマンションを見て行ったらと、銀座から勝どきの我が家までタクシーを飛ばす。北京のマンションは東京に比べると広いが、同じくらい高いと呉さん。

ぎっくり腰の翌日から2日は予定を全部キャンセルしたが、三日目は駅前の整形外科まで直立歩行、銀座まで出掛けられたので、四日目の金曜日に予定していた客には勝どきの

マンションに来て貰う。電源開発の井水利用専用水道事業を一緒に手伝うパートナーとは、近くのトリトンスクエアでビジネスランチ。午後は出店に協力して欲しいという家電量販店の役員が来て、マンションの共用会議室で打合せ。逆に家電量販店に井水利用の専用水道を設けることも提案。顧問先とは4人掛けのソファーが二組ある共用の応接室で打合せ。400戸の大規模マンションなので、他にもキッズルームやパーティールーム、ゲストルーム等があり、共用施設が充実。駐車場も全戸分の駐車場ビルがあり、車で来た顧問先には来客用の駐車場に停めて貰う。在宅勤務にすれば大分経費を節約出来ると、ぎっくり腰のお陰で確認。だが事務所を引き払えば同窓会の三鷹クラブをジブシーにしてしまう。そのネットワークのお陰でどうにか事務所費分は稼げているので、当分その必要はなさそうだが。

金曜夜には三鷹寮の上の年次との合同同期会が予定され、医者には長時間でなければよいと言われ判断に迷う。一年先輩の小林節さんが社長で、現在進行中の建替で高橋カーテンウォールの外壁パネル等でお世話になっているパレスホテル経営の、大手町ファーストスクエア宴は勝鬨から近く、具合が悪ければ直ぐ帰れるからと参加。●が幹事のS41年入寮生が11名、仙谷官房副長官と一緒に司法試験の勉強をした遠藤昭弁護士が幹事を務める上の年次が、小林社長を含め40名。2対1という母数の差以上の差は、幹事の人徳の差?! ●入寮時の宮原寮委員長（日本郵船会長）の下では共産党系と新左翼系が仲良く寮を運営。だが、ベトナム反戦闘争や大学闘争の激化で党派対立が深まり、●は一票差で委員長に。全共闘系だけの片肺で寮を運営、当時の対立が未だ尾を引き、かつての共産党系の諸君は不参加。それでも二時間半立って楽しく司会。週明けからの仕事に自信を持つ。

## アマダイの台湾紀行(上)・・・「サンキュー台湾ぐるり周遊5日間」(トラピクス)

昨年12月26日から30日まで、食事の時の飲み代しか使わず、成田で両替した1500台湾ドル（1台湾ドル3円）を200ドル残す「貧乏旅」を楽しむ。

### ① 南国で寒さに震え

暮れの26日、成田から四時間半のフライトで、時差1時間の7時過ぎに着いた台北の花園空港で12度。台中まで2百キロ走る。寒いのに台湾の車には暖房なしで、体を擦って暖まる。北部の基隆港から南部の高雄港まで400キロを一直線に結ぶ高速道路は、40キロ毎に10箇所料金所がある。1区間40台湾ドルで全線を走ると日本円で1200円と安い。料金所は自動収受、遮断するバーもなく高速で通過。バーがあり20キロほどに減速する日本と違い料金所渋滞などはない。60-90、60-110という速度制限標識らしきものがあるが、時速90キロから110キロで走るように、60キロ以下ではいけませんという標識で、制限速度以下で走っても捕まることはないが、パトカーから警告されるという。

九州の7分の6の面積で、三千メートル超の山が百座ある「国土」に2千3百万人が住む。沿線には途切れることなく灯が灯り、片側三車線の高速道路一杯に車のライトがつながる。IT関係の産業が集積する新竹科学工業園区も通過するが、台湾経済の主力の中小企業が入る工場ビル群の中にフジフィルムなど、見慣れた看板のついた大工場も。2百キロを2時間で走り、最初の宿泊地台中に10時近く着。ホテルの部屋にも暖房がなく、毛布を一枚追加で貰う。南国ツアーだからと半袖シャツしか持参せず、成田で脱いだカシミアのセーターが頼り。成田で買った日本酒とお風呂で暖まって寝る。

5時半に目を覚まし、6時半からの食事、7時半の出発には余裕だ。カシミアのセーター

で温まり、部屋のコーヒーはインスタントなので、持参のパックコーヒーを煎れ、機内で読み切れなかった台湾本第一号「台湾したたかな隣人」(酒井亨、集英社新書)を漸く読み終える。身近な隣「国」で、新聞等で目にすることも多く、一冊の本も読み終えることなく来てしまったが、断片的で浅薄な知識しか持っていなかったと、多いに反省させられる。

## ② 「日本化」する台湾!?

朝食はバイキング。お粥のトッピングは大陸と違い辛い物はなく、並べて甘目。先ず身寄りのない日本人の霊を祀る宝覺寺へ。途中マンションのモデルハウス。5%の頭金を払った予約者が8割位集まると着工、2、3年で完成、その間毎月2%位ずつ代金を払えば代金の8割まで、銀行が年利3%で貸す。人口百万人の台湾第三の都市台中のマンションで坪40万円から45万円、人口三百万人の首都台北で坪300万円する。一昨年末引越した勝どき駅徒歩10分の我が家の新築マンションは坪200万。能代高校同期の小野寺住友不動産社長は民事再生になった会社の案件なので格安だ、普通なら300万円はするという。大卒初任給9万円、一人当たりGDP1万6千ドルの台湾のマイホーム作戦は日本に比べても大変だ。

ガイドの邱さんによると、車は日本車が人気で、中でもトヨタレクサスが一番人気だという。バイクを含め日本メーカーは現地生産で対応するが、部品に関税がかかるので日本国内より割高。街中にはマクドナルド以上にセブンイレブンの看板が目につく。地場資本の統一食品と組んだファミリーマートも負けていない。因みに台湾名は全家だ。牛丼の吉野家や洋服の青山まで店を展開する。

門だけ通りに面し3、4階建ての店やオフィスの入るビルに囲まれ手狭な大陸の都市部の学校と違って、台湾の学校は通りに面し、校庭も広く立派だ。対岸の福建省のアモイではサラリーマンも子供も二時間の昼休みの間に家に帰ってお昼を食べ、昼寝してから職場と学校に戻るが、台湾のサラリーマンの昼休みは1時間半、家には帰らず、量り売りのおかずを買って100円から150円でお昼を済ませ、会社に帰って自分の席で昼寝する。共稼ぎが普通で、8時半から6時の勤務が終わるとおかずや食材を買って帰り家族で食事、仕事帰りに職場の仲間と一杯ということはない。子供達は前の晩作って貰った料理を弁当に詰めて貰い登校、学校の蒸し器で温めてお昼に食べる。受験競争は激しく、邱さんの娘さんも小学校四年生から7時半に登校、4時の終業後は塾で勉強、帰りは11時という生活を高校まで続けたという。大学の四年間は遊ぶ。20歳から1年間徴兵されるが、在学中は猶予される。名門台湾大学を筆頭に就職では有名大学が有利だが、会社は能力主義で、できる社員にはボーナスを弾み、昇給するので、格差が拡大しているという。

## ③ 山碧水明は美まし酒の故郷?

引取手のない日本人の遺骨を弔い、ユーモラスな黄金の巨大布袋様を祀る宝覺寺を後に、名勝にして台湾最大の湖、琵琶湖ほどの大きさの日月潭に向かう。半分が太陽、半分が月の形をする。高速道路を緑豊かな山岳部へ。緑の沃野に集落が散在、水田や野菜畑、広い茶畑や果樹園の中に農家が点在する。大分南下、冬だというのに暑からず寒からず、山々を覆う常緑の木々の緑も豊富、ゆったり時間が流れる桃源郷の面持ちだ。椰に似たヒョロ長い木の林。樹冠の葉っぱのすぐ下に4、50個つく檳榔の実は噛むと覚醒効果があり、加工した物を道端で若い娘が売る。セクシーなコスチュームで惹き付け売るとのことだが、

季節が悪かったか檳榔娘のセクシー姿には出会えず、残念。

道路の両側には水田も広がり、二期作、時に三毛作でジャポニカ米の蓬莱米を作るが、米余りで減反中。仙人の住む島蓬莱からの客人は工業は日本で、台湾は農業でという大方針で、ダムを作り灌漑用水路を縦横に張り巡らす。膨張主義の日本帝国主義なき後、狭い国土の日台共に米余りに苦しむ。躍進著しく、世界の地下資源と食糧を貪欲に呑み込み、版図の広さと人口の多さの割には耕地が不足、水不足にも苦しむ大陸に食糧を供給、農業は日台で、工業は中国でという、日台中分業経済が成立する！？満々と水を湛え、時に碧、時に翠と微妙に変化し、美しく輝く日月潭の湖畔の絶景を車窓から愉しみ、妄想する。

文武廟や玄奘寺も見学、土産物屋やホテル、レストラン等は少数民族高砂族が経営する。「原住民」という看板も掲げる彼らは土地の所有や税制面で大幅に優遇されていると、近世以降対岸から移住、今は多数を占める客家の系譜のガイドの邱さん。原住民は学校でも真面目に勉強しないし、その日暮らしで仕事に打ち込む熱意も薄いと、微妙な民族感情の一端も。元々気候に恵まれた豊かな地でのんびりとその日暮らし出来た者と、その日の生活にも事欠き、押し入って来た者の気質の差か？高砂族の経営する紫檀や黒檀の木工品、宝玉、南国の果物などを売る土産物屋の二階のレストランで昼食。美味しい飲茶を肴に地ビールで喉を潤す。ビール中瓶1本120台湾ドル(360円)。紹興酒の本場は対岸の紹興だという茶々にもめげず、いい水に恵まれたこの地こそ紹興酒の故郷だ、と主張して止まない邱さんの熱意に押され、昼から紹興酒する。陳年5年物一瓶4百台湾ドル。

## ◎原発の現状とこれから・・東大三鷹クラブ第98回定例懇談会のご案内

今回の講師の二ノ方 壽君(昭和40年入寮)は教養学部基礎科学科卒業後、工学系研究科原子力工学科修士を経て博士課程を修了(1977)。米国マサチューセッツ工科大学教育助手(1973-)、東京電力株式会社入社後1年間の福島第一原発勤務(1977-)、本社で2年間高速増殖炉実証炉開発研究業務、その後動力炉・核燃料開発事業団大洗工学センターで高速増殖炉の安全性研究(1980-1993)に従事した後、1993年から東京工業大学で教鞭をとるようになり、現在に至っています。

二ノ方君の紹介を頼まれ、頼まれると断れない性格で引き受けましたが、大変なことを引き受けたと反省しています。二ノ方君と三鷹寮で一緒になったのは、約45年前、当時の記憶が薄れてきているので、間違いがありましたら、ご容赦ください。彼と同室になったことはなく、どのようにして知り合ったか定かではありません。退寮後は、学部が違ったこともあり、数年前に再会するまで、全く音信不通でした。付き合いは短期間でしたが、いわゆる馬があつたというか、在寮中は親しく付き合い、いくつかのことは鮮明に覚えています。例えば、お茶大と深大寺への合ハイを企画したり・・・。数年前に三鷹寮40年41年入寮合同会で再会したときに、すぐ二ノ方君だとわかりました。

話は変わりますが、3月11日の東日本大震災以降の政府と東京電力の不手際な対応と、長く続いている被災者の大変な避難生活のことを思うと、もどかしさを感じている方や、立ち上がって支援活動に力を尽くしている方がおられることと思います。そのことを踏まえて、原子力発電の現場に深く関わり、現在は学究の立場に身を置いている二ノ方教授に、原発の現状とこれからについて話していただきます。

マスコミの報道ではわからないことが多く、このたびの講演で日本原子力学会の事故分

析分科会や米国原子力学会の事故調査特別委員会の一員である、東京工業大学原子炉工学研究所／エネルギー工学部門の二ノ方教授の口から、震災後に起こっている出来事について詳しい説明を聴き、質疑応答できるのは、時宜を得た事務局の設定と感謝しております。

私は今回の震災から、「危機に強くなる」と「人格を高める」を、会社の中の改善課題として追及していくことにしましたが、二ノ方君の講演から、さらなる視点が追加できるのではと期待しております。つたない紹介で申し訳ありませんが、二ノ方君の素晴らしい講演を聴けるということでご容赦ください。(S40年入寮井原正登日野製薬(株)代表取締役)

日時：平成23年9月1日(木) 18時30分～21時

場所：学士会館本館203号室(千代田区神田錦町3-28) TEL 03-3292-5931

会費：5000円(会場費、夕食代・ビール代、通信費など込み、講師参加で別途二次会あり)

定員：70名(先着順：定員を超えない限り特に連絡は致しません)

申込先：平賀・干場 Fax 03-5689-8192 電話 03-5689-8182

(有)ティエフネットワーク Email: [tfn-hoshiba@blue.ocn.ne.jp](mailto:tfn-hoshiba@blue.ocn.ne.jp)

### ◎味は文化だ！「三種盛り」

5月の連休明け、駒形どぜう渋谷店でS43年入寮の勝部君や寮生と10人ほどで歓談、味は文化だ！鯨も恋(鯉)も鮠も食べ！と大・中・小の魚の「三種盛り」で盛り上がる。8人部屋の自治寮で謂わば自治の学校でもあった旧三鷹寮とは似ても似つかぬ、つながりに欠ける個室の「東大三鷹国際学生宿舎」だが、日本と世界の次代を担う才能が、少しでも交流を深め、経験を積んで欲しい。以下は寮生の感想の一部と🐟の返礼です。

☆浅野珠生

昨日はおいしい料理を食べに連れて行ってくださって、本当にありがとうございました。どじょうも鯉も初めていただきました。運動会、シンポジウムでは、またお世話になりますが、今後ともよろしく願います。またお話を伺えるのを楽しみにしています。

☆志村成美

三鷹寮生でもなく、突然の参加で大変恐縮ではございましたが、とても充実したためになる時間を過ごすことができ、本当に嬉しく存じます。田楽の由来もそうですが、日本の文化について私たち日本人が知らないことはとても多く、それを少しでも克服する意味もあって私も大学から茶道をはじめたりなどはしておりますが、やはりまだまだ知らないこともたくさんあります。その意味でも、昨日は本当に貴重な経験をさせていただきました！堅い言葉抜きにしても、本当に鯰も鯉も鯨も美味しくいただきました！(こうして並べると漢字もすごく面白いですね)。寮生でない分なかなか色々な行事に参加できる立場にはないですが、またオープンなパーティーなどがあれば是非参加させていただきたいと思っております。それでは貴重な経験とお話、本当にどうもありがとうございました。

☆伊藤拓也(中国名：楊楊)

昨日は、学生にとって贅沢過ぎるご馳走を頂き、ありがとうございました m(\_)\_m  
日本の文化に触れるだけでなく将来に役立つお話も沢山聞かせて頂いて、非常に有意義な時間でした。☆まだまだ未熟な者で、考えも浅いですが、少しでも成長の手助けをして頂けると、嬉しい限りです。どうぞ、これからもよろしく願います m(\_)\_m



鱈、恋ならぬ鯉、鯨と、食べ慣れない日本の味を味わって頂きましたが、味は文化です。国際的に活躍するためにも、日本の文化や歴史を学ぶことは大事で、日本の食を広く経験しておくのも大切です。三鷹クラブのフェースブック版作ったら世代間の縦、同年代の横の連携がグローバルに広がらないかなと思います。デジタル世代の若い諸君が考えてくれると嬉しいな。とりあえずは6月19日の体育祭をどうするか？一段落ついたら、進路を巡るシンポジウムも考えましょう。皆悩んで大きくなったという言葉もありますが、より上手に悩むためにも、いいデータがあった方がいいでしょう。僕は営業コンサルタントで、勝部君はベンチャーキャピタルで独立、自営していますが、彼は50歳近くまでKDDという立派な会社で、僕も40歳から10年間、それなりの会社二つでサラリーマンしています。人生色々ですが、組織に縛られず、時間を比較的自由に使える「高等遊民」になる後輩がいて、三鷹クラブを引き継ぎできると嬉しい。

### ◎失敗も勉強のうち…大型多目的ホールを！

6月16日は寮の体育祭を駒場で開催、家で早目に軽く食事して、8時の打ち上げから参加。近くのカッパ鯨で三鷹クラブから差し入れの鯨桶を注文、早目に着き寮生と卓球。腰も気にならぬ球さばき？で自信回復。当初予定の半分以上の13人、集まりの悪い体育祭だったようだが、まずやってみることが肝心だ。総括して次回に生かせば良い。OBからすると、寮でやってそのまま表彰式兼懇親会という形が参加を呼び掛け易い。そうすると、草野球を四面同時にできる広さのグラウンドとホールの他に広い食堂もあった旧寮とは違って、テニスコート二面と小さなホール一つしかない今の寮では卓球、バトミントン、テニス、綱引き、長縄くらいしかできないかと思うが、とりあえずそれでもいい。

東大総長が二年後輩の旧知の濱田君に代わって、駒場の教養学部を全寮制にするという意気込みで、三鷹寮の定員を現在の6百人から千人に増やす、増築プランが出てきた。三鷹クラブとしても資金集めに協力するが、増築の機会に寮生の交流の機会を増やすために、新入生歓迎会も全員で懇親でき、体育祭ではバスケットやバレーボール、フットサルなども出来る大きな多目的ホールも是非作って欲しい。

今回は相棒の勝部君がロシア出張だったので、華屋与平衛での二次会は一人だけで寮生20人ほどを歓待。一気飲みや、深酒している諸君もいたが、皆大丈夫だったようだ。日付が変わり、タクシーを拾い勝どきまで東京を西から東へ駆け抜ける。

参加者は見田真木子（2008年入寮・文学部社会学部・都立西）・阿南紫帆（2010年・文Ⅲ・大分上野丘）・石田翔太郎（2010年・理Ⅰ・尾道北）・伊藤拓也（2010年・理Ⅱ・大阪府清教学園）・大島康彰（2010年・理Ⅰ・福岡大学附属大濠）・大槻美貴（2010年・文Ⅰ・仙台育英学園）・栗原大輔（2010年・理Ⅱ・大教大附属天王寺）・重見直宏（2010年・文Ⅲ・愛光）・榎木啓文（2010年・理Ⅱ・久留米大附設）・林佑哉（2010年・文Ⅱ・高岡）・光頼幹（2010年・理Ⅰ・膳所）・山口裕（2010年・理Ⅰ・宇部）・兼子健太郎（2011年・理Ⅰ・下関西）・佐々木拓輝（2011年・文Ⅱ・仙台第二）・柴崎京介（2011年・理Ⅰ・灘）・成澤終子（2011年・文Ⅰ・宮城県聖ウルスラ学院）・西中亮太（2011年・理Ⅰ・大阪府四條畷）・畑山優大（2011年・理Ⅰ・苫小牧東）・濱屋和広（2011年・文Ⅱ・静岡県富士）・柳沼和也（2011年・理Ⅰ・郡山）・柳光孝紀（2011年・理Ⅰ・島根県石見智翠館）

## ◎最後に

節電のために、よく使う食堂と居間のシャンデリアの電球 10 個と洗面所のダウンライト 1 個を LED に替えた。計 3 万円の投資。使用電力が 2 割以下で発熱量もその分少なく、寿命が 4 万時間と長いので、費用は気長に回収だ。今回の震災で「LED 革命」と省エネ家電への買替えが一気に進む。この流れを国内だけで終わらせず、世界全体の流れにしたい。折から中国新幹線の惨事。まだまだ日本は世界の先頭で頑張らなければいけない！力を合わせ環境、エネルギー、食糧・農業、少子高齢化、過密・過疎、交通、地震・津波、放射能などの『課題先進国』から『課題解決先進国』(小宮山前東大総長)へ！

封筒の番号末尾二桁 85 番の方に故郷白神の物産をプレゼントさせていただきます。再見！